

パブコメ集計結果(全球規模から地域スケールまでの短期の気候変動シミュレーション研究(気候変動シミュ))

1. 総数: 3件

2. 賛否について:

○賛成:	2件
○賛成だが施策の改善見直しの意見を含むもの:	1件
○反対:	0件
計	1件

(賛否の考え方)

- ・主旨に賛成の文意を含むものは全て賛成に判定。
- ・「賛成だが施策の改善見直しの意見のあるもの」は基本的には賛成だが、施策の実施にあたっての改善、見直し方策について記述されているものを集計。

(参考)

①賛成

・数値モデルによる天気予報が行なわれるようになり、時系列で天気の変化が予測されるようになりましたが、的中率はいまだ 8 割程度(体感では 6-7 割)です。これは、現在の数値モデルでは表現しきれていない大気中の小さな擾乱が影響を及ぼしていることが一因と考えられます。また、地球規模で見れば小さな擾乱でも、集中豪雨、竜巻など私たちの生活に大きな影響を与えるものもあります。天気予報の精度向上だけでなく、私たちの生活の安全につながる研究は、絶対に必要であると思います。

②賛成だが施策の改善見直しの意見を含むもの

・事業番号 25(スパコン)の一課題として、実施すること(積極的に推進すること)が望ましいと考えます。これまでのモデル開発・研究成果を見ていると、必要性「社会・経済に大きな影響を与える局地的な気象や人間の活動がもたらす環境変化などへの社会の関心は高く、こうした気候変動の影響を事前に予測し、被害の軽減につなげることは、国民生活の安全・安心の確保のためにも極めて重要な課題である。」に関わる、理学系の研究成果はほとんど見られません。一方でスーパーコンピューティング技術発展に対する、本事業の貢献は非常に大きいと思います。そうした背景を考慮すると、1つの事業として推進する必要は、横浜の地球シミュレーターを維持するため、ぐらいいきなり思い当たりません。地球シミュレーターを利用する他の研究事業から、間接的な経費を徴収することにより、地球シミュレーターを維持することができるのなら、むしろ次世代スパコンの活用に向けた研究事業を強力に推進していただきたいと思います。

③反対

